



- 学校教育目標 : ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校（美しい心の育成&美しい環境の整備）
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気です！



豊かな体験活動を

校長 川村 敬志

秋風が様々な色を運んでくる季節となりました。秋といえば読書、スポーツ、食欲などを連想しますが、本校では【体験活動の秋】が訪れています。その活動は、社会見学、修学旅行、校区探検、キャリア教育講話、水育、虫取り、アサガオリースづくりと、枚挙にいとまがありません。一緒に行った修学旅行的一幕を紹介します。

修学旅行1日目。広島の平和公園に到着。原爆の子の像の前で平和集会を行った後、原爆死没者追悼平和祈念館に移動し、被爆伝承者の方の講話を聴く。

「わたしは94歳。こうやって話をするのは今年で終わりにしようと思っています」

絵や画像、資料を使いながら、当時の様子、その時に感じたこと、受け継いでほしい思いを語るお姿。時々咳き込んだり、言葉に詰まったりしながらも、絞り出される一言一言の重み。そのお姿と言葉を心と眼に刻もうとする6年生。

講話の終盤、「たくさん講話をしてきましたが、常盤小学校のみなさんは本当に素晴らしい」と、伝承者の方から講話に臨む6年生の姿勢を絶賛される。講話終了後、何人かが被爆伝承者の方に歩み寄り、言葉と握手を交わす。



本校では「見る・触れる・話す」といった体験を通して学びを深めています。教室の学習が実際の場と結びつくことで、知識が心に定着し、日常で使える力になります。仲間と一緒に活動する中で、思いやりや協力の心も自然に育ちます。体験活動は、物や場所を学ぶだけでなく、人との関わりそのものが学びの場になります。友だちとのやり取りや役割分担、地域の方との会話を通して、伝える力や相手を思う心が育ちます。地域の方々との出会いや現場での体験を重ねることで、子どもたちの「ふるさと常盤」や「ふるさと山口」への愛着が深まっていきます。地域の仕事や文化を知ることが、自分の住む町を大切に思う気持ちを育て、将来の地域参加につながる大切な一歩です。

体験活動はこれからも授業や行事とつながって続いていきます。学校と家庭、地域が手を取り合って、子どもたちの好奇心や思いやり、ふるさとへの愛着を育てていきます。写真の小さな一コマについて、おうちで話してみてください。



各校のホームページ



常盤小



西岐波中



常盤中

